

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		山谷地区福祉増進				所管	福祉部	
							保護課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小柱]					[事業開始] 昭和 4 0 年度	
		[施策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	山谷地域福祉増進事業運営事業費助成要綱			
	事業対象	山谷地域に在住する60歳以上の人。(助成団体:公益財団法人城北労働・福祉センター)						
	事業目的	山谷地域における高齢者の福祉増進を図るために、敬老会事業を実施する運営団体に対し、事業経費の一部を助成する。						
	事業内容	山谷地域に居住する高齢者に、健全なレクリエーション等を提供して、慰安、激励し、長寿を祝う「山谷地域敬老会」事業を主催する上記団体に運営経費の一部を助成する。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	参加予定者数 人		180	300	108	180	
	成果指標	参加者数 人		150	76	46	143	
	決算額 (単位:千円)				242	120	30	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)			270	4,933	4,963	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			3	1	0	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			240	120	30	
		総経費			513	5,054	4,993	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			513	5,054	4,723			
前年度から改善した事項		全員が同一の演芸を見る形態から、個々の好みにより区城北地区の近隣で実施される演劇、落語、映画の3つのうちから、好みのプログラムを選び、鑑賞する方法へ改めた。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	山谷地域敬老会事業は、山谷対策事業の一環であり、経費は東京都、荒川区、台東区の助成で実施している。また、地域住民からの継続要望の声も強く、必要性は高い。					
	効率性	3	この事業は、山谷地域の歴史的な事情を踏まえ、行政が関与して実施していくことが重要であるため毎回アンケート等を行い、効果的な実施を心掛けている。					
	手段の適切性	3	アンケートの結果からは、参加者の約8割の方から満足との回答を得ている。					
	目的達成度	2	参加者数は、平成24年度の46名から143名に増加した。好みのプログラム(演劇、落語、映画)を選択できるように改めたことで、個人の志向に合うものに参加できるように改めることができた。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
山谷地区在住の方の高齢化は進行している。対象者の状況を考慮し、事業継続希望の声に応え、慰安する事業は必要である。						維持		